

令和3年度会長杯軟式野球大会 開催要項

- 1 主催 草加市野球連盟
- 2 日時 令和3年3月14日から6月13日（日曜日）※第5日曜日・GWは除く
第1試合 8時30分
第2試合 10時30分
第3試合 12時30分
- <大会予定日>
①3/14 ②3/21 ③4/4 ④4/11 ⑤4/18 ⑥4/25
⑦5/9 ⑧5/16 ⑨5/23 ⑩6/6 ⑪6/13
- ※雨天順延日程は大会予定日を優先に再編成します
- 3 会場 工業団地公園野球場・総合グラウンドB面
- 4 参加資格 令和3年度 草加市野球連盟登録チーム
※登録各チームは必ず傷害保険に加入すること
- 5 チーム編成 草加市在住・在勤の社会人で編成され、監督1人、主将1人、選手20人まで。
※監督・コーチが選手を兼ねる場合は選手として登録してください
- 6 試合方法 クラス別ブロックリーグ戦で上位チームを選出し、決勝トーナメント戦を行う。
試合時間及びイニングは、各クラス1時間30分または7イニング制とする。
- 7 競技規則 当該年度「公認野球規則」により試合を行う。ただし、今大会特別ルールも併用します。
・ブロックリーグ戦は勝ち点制でブロック順位を決定。
勝＝3点・敗＝0点・分＝1点とし、勝ち点が同数の場合は
①得失点差②得点数③失点数④直接対決の戦績で順位を決定する。
・チームが試合を棄権した場合はそのチームは不戦敗とし、相手チームは不戦勝となる。スコアは不戦勝1－0不戦敗とする。
- 8 表彰 優勝、準優勝、第3位に賞状・賞品を授与
- 9 参加費 1チーム 17,000円
※大会に参加するには草加市野球連盟年間登録費5,000円が必要
- 10 申込・支払 草加市野球連盟事務局までメール申込
①2/20(水)までにメールで参加申込 [チーム名・代表者名明記]
②参加チームが確定後に代理抽選を実施。抽選会の開催はありません)
③対戦詳細・連絡事項については3月上旬にメールで伝達します。
④2/21(木)～2/28(日)の支払期間に大会参加費 17000円を支払う。
【現金持参の場合】草加市野球連盟事務局 草加市高砂1-7-13
(ヤマトヤスポーツ) 10:00-19:00(水曜定休日)
【振込支払の場合】埼玉縣信用金庫 草加支店
普通01701553
草加市野球連盟 山口 守
- 必ず振込人名とチーム名を入れてください
- 11 問い合わせ 草加市野球連盟事務局
TEL 048-928-1135
MAIL sokashiyakyurenmei@gmail.com
URL <https://www.netto.jp/sba/>



今大会は「施設運営管理基準」「感染症予防対策ガイドライン」を遵守して開催します。
参加する上で、必ず、内容を確認してください。

会長杯軟式野球大会参加チーム 確認事項

◎競技運営に関する注意事項

1. 代表者会議で説明または決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。
2. 大会に出場するチームは、事前に選手登録票（年間）3部の提出が必用となり、その登録選手以外の出場は認めない。
3. 軟式野球チームとして好ましくないチーム名を用いないこと。
4. ユニフォーム、帽子、ストッキング、アンダーシャツ等は、同一チームの各プレイヤー（監督、コーチを含む）は、同色、同形、同意匠のものを着用しなければならない。
5. 選手登録票に記載されている選手は全員必ず背番号をつけること（0～99までの算用数字であること）。監督は30番、主将は10番と統一する。背番号の規格は、最小限15.2cm以上、最大限長さ21cm、幅16cm、太さ4cm以内とする。背中には、選手名をつけてもよい。ただし、背番号の上にローマ字で姓のみとする。
6. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
7. 大会運営の関係でシートノックはなしとする。なお、練習は外野のファウルグラウンドで行うこと。練習中といえどもユニフォームを着用しない者はグラウンドに出ることはできない。
8. 試合中ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督、コーチ、選手20名以内とチーム責任者1名、スコアラー1名、マネージャー1名の3名以内とする。なお、この3名はスポーツ行事にふさわしい服装でベンチに入ること。 ※特例措置（密集を避けるために競技支障のない範囲でベンチ外待機を認める）
9. 球場内のフリーバッティングは認めない。また、バックネットに向かってのトスバッティングも認めない。
10. メンバー交換の時期：第一試合は開始時刻の30分前、第二試合以降は前の試合の4回終了時にそれぞれ本部へメンバー表3部（フリガナをつける）を提出して攻守を決定する。
11. 試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した後20分で、次の試合を開始する。
12. 試合開始予定時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。また、連絡が無い場合は、次回の大会出場はできない。
13. 試合開始の挨拶時には、登録された選手が9名以上整列しなければならない。ただし、条項を満たすには、ベンチ内に1名以上のグラウンドキーパーを確保しなければならない。満たない場合は棄権とする。
14. ファールボールは、ベンチサイドで拾い球審に届けること。（バックネット前は攻撃側）
15. 大会当時の開催判断は午前7時とする。グラウンド不良や雨天の場合は試合を中止とするが、球場が使用可能な状態の場合は試合を強行する。
16. 雨天中止の確認は、チームから積極的に行うこと。また、開催状況については草加市野球連盟ホームページまたはFacebookページからも確認ができる。
17. 各チーム、監督または主将は球場へ来たら本部席まで連絡すること（代理人も可）。その時にメンバー表を渡します。
18. 試合中の電子機器（スマートフォン、タブレット端末等）の使用禁止。

連絡先 ヤマトヤスポーツ 048-928-1135

草加市野球連盟ホームページ及びFacebookページでは、連盟の活動予定や結果などをお知らせ

しています。雨天時の開催状況も7時にお知らせしていますので、チーム内でも有効に活用してください。

◎競技中に関する注意事項

1. 競技中のプレイヤーの禁止事項

- (1) 試合から退いてベンチに残ることを許されたプレイヤーが相手チームのプレイヤー、監督または審判員に対して、野次をとすることは許されない。(3.06)
- (2) ユニフォームを着用した監督、コーチ、プレイヤーが試合前、試合中を問わず、相手チームのプレイヤーと親睦的態度をとること、または、観衆に話しかけることを禁ずる。(3.09)
- (3) 両チームのプレイヤー及び補欠は、実際に競技にたずさわっているか、競技に出る準備をしているか、あるいは一塁または三塁のベースコーチに出ている場合を除いて、そのチームのベンチに入っていないなければならない。(3.17)
- (4) 監督、コーチ、プレイヤーはどんなときでも、ベンチ、コーチボックス、その他の競技場のどの場所からも、次のことをしてはならない。(4.06)
 - a 言葉、サインを用いて、観衆を騒ぎたたせるようにあおろうとすること。
 - b どんな方法であろうとも、相手のチームのプレイヤー、審判員または観衆に対して悪口や暴言をはくこと。
 - c ボールインプレーのときに「タイム」と叫ぶか、他の言葉または動作で明らかに投手にボークを行わせようと企てること。
 - d どんな形であろうとも、審判員に故意に接触すること。(審判員の身体に触れることはもちろん、審判員に対しての話しかけや、なれなれしい態度をとること)
- (5) 野手は、打者の目のつくところに位置して、スポーツ精神に反する意図で故意に打者を惑わしてはならない。

※ ペナルティー 審判員は反則者を試合から除き、競技場から退かせる。
なお投手がボークをしても無効とする。

2. ベンチ内での携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは一個に限る。
3. 守備が終わり、最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
4. 試合中もめごとが生じたときは、その試合の担当審判員が責任をもって処理するが、審判員が裁定に苦しむとき、あるいは、カウント、ルールの間違ひについては、控え審判員（実行委員）がその抗議の解決にあたることのできる。よってその裁定は最終的なものとする。

※以上が大会開催に関する大綱である。よって各チームはミーティングを開き、全選手に周知徹底してください。

◎競技者のマナーについて

1. マナーとスピードアップが良識を持つ野球人の義務、要するに社会の良識を持った社会人が行うので、社会人と呼ぶことを認識して欲しい。
2. 投手の投球間隔の短縮。(ボークとまでいかない不必要な無駄な行動)
3. 捕手か捕球したあと、ストライクに見せかけようとしてミットを動かす行為。
4. 捕手が捕球したあと、あたかもストライクと言わんばかりにミットを残す行為。
5. 捕手が低い姿勢でも捕手席から片足を出してボールを投げさせる振りをしてストライクを投げさせる行為。
6. 打者のヒジ当てを利用してのデットボール。
7. 打者がインコースの投球を避ける動きをしながら当たりにいく行為。
8. プレイ中にベンチをみだりに出ない。
9. 声援とヤジの違い。

※以上が競技者のマナーに関する大綱である。よって各チームはミーティングを開き、全選手に周知徹底してください。

◎大会特別規則

1. 試合時間について

7回戦1時間30分、9回戦2時間を超えて新しいイニングには入らないものとする。なお、スムーズな大会運営のため、当該試合の球審と大会本部の判断により、最終イニングの宣告が行われた場合はこの決定を最優先とし、当該チームの意見等は一切受け付けないものとする。

2. コールドゲームについて

得点差による場合

9回戦 5回以降 10点差、7回以降 7点差

7回戦 3回以降 10点差 5回以降 7点差

暗黒降雨コールドゲーム 5回 (4回 1/2)

3. 延長戦について

延長戦は行わない。試合が大会規定回数（9回または7回）を完了して同点の場合には、次のとおりとする。

＜リーグ戦方式の大会の場合＞同点引き分けとし勝点1を付与する。

＜トーナメント戦方式の大会の場合＞特別延長戦を行う。

4. 特別延長戦（タイブレーク）について

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、0アウト一塁、二塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返すこととする。2イニングで終了し勝敗が決しない場合は、抽選とする。

5. 特別継続試合について

暗黒降雨等よりタイゲームのまま中断になった場合、更に降雨によりノーゲームになる回数るとき特別継続試合として行う。

6. 指名打者について（任意適用）

先発投手または救援投手が打つ番のときに他の人が代わって打っても、その投球を継続できることを条件にこれらの投手に代わって打つ打者を指名することが許される。投手に代わって打つ指名打者は、試合開始前に選ばれ、打順表に記載されなければならない。指名打者に代えて代打者を使っても良いが、指名打者に代わった打者は、以降指名打者となる。退いた指名打者は、再び試合に出場することはできない。指名打者が守備位置についた場合、それ以降指名打者の役割は消滅する。指名打者制度適用は特別規則として、攻撃9人制 または 攻撃10人制での適用を認める。

7. バットについて

一本の木材で作った木製バットのほか、金属製バットは全軟連公認のものに限る。

8. 捕手の防具について

捕手が守備につくときは必ずマスク、レガース、プロテクター、捕手用ヘルメット、セーフティカップを着用すること。

9. ヘルメットについて

打者、次打者、走者及びベースコーチは、全軟連公認の軟式用ヘルメットを着用すること。（製品安全協会の認定基準によるもの）

10. 抗議権について

監督、主将、当該プレイヤーのうちいずれか1名とする。

11. かくし球について

走者のいるとき、球を持たない投手がプレートのおすぐそばでサインを見るような動作をした場合は、球を持たないでプレートについたとみなし、かくし球は無効でワークとなる。

12. コーティシーランナーについて

試合のスピード化をはかるため、試合に出ている9人の中から代走（打順の前任の者、ただし投手を除く）を認める。

13. 試合中断中のアピールについて

激しい降雨により中断され、中止となる場合に限りアピールすることができる。

14. 試合中の禁止事項について

- (1) バットの素振り用パイプ及びリングの使用を禁止する。
- (2) 投手が腕の手首にリストバンド（サポーターなど）を使用することを禁止する。
- (3) 足を高く上げてのスライディングの禁止。現実これが妨害になったと審判員が認めたときは、守備妨害で走者アウトとする。
- (4) 空タッチを禁じる。走者が進塁のとき野手が空タッチをして、妨害になったと審判員が認めたときは、オブストラクション（走塁妨害）を適用する。
- (5) プレイヤーが塁上に腰を下ろすことを禁じる。
- (6) 守備側からのタイムで試合が停止されたとき、その間投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
- (7) もめごとなどの際、審判員や相手プレイヤーに手をかけることを厳禁とする。万一このような事態が起きたときは退場を命じる。
- (8) 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。また、スタンドでの自チーム側の応援の野次もチームの責任とする。

15. 試合のスピード化に関する事項

- (1) 投手は初回（救援を含む）に限り、一分を限度として8球以内の準備投球が許される。次回からは4球以内とする。
 - (2) 攻守交代は駆け足で行うこと。
 - (3) 投手と捕手について
 - ① 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートについて見ること。
 - ② 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
 - ③ 捕手から返球を受けた投手は、速やかにプレートを踏んで投球姿勢をとること。
 - ④ あまりインターバルが長く、無用な牽制が度を過ぎるとペナルティーを課すことがある。
 - (4) 打者について
 - ① 打者は、速やかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
 - ② 次打者は、次打者席へ入ったら必ず低い姿勢で待つこと。投手も必ず実行すること。
 - ③ 打者がみだりに打者席をはずした場合、球審はタイムをかけずに、投球に対して、正規に「ボール」、「ストライク」を宣告する。
 - ア 投球が終了（見送るか空振りする）したら、打者席をはずすことは差し支えないが、投球の終了毎に、いちいちはずすことは許されない。
 - イ 打者は、打者席内でベンチのサインを見ること。（打者が正規に打撃姿勢をとらなければ、投手は、打者に投球しない。）
 - (5) 内野手間の転送球は、1回表・裏とし速やかに投手に返球すること。なお、試合が遅れているか、日没まで短時間しかない場合は、転送球を止めさせることがある。
 - (6) タイムについて
 - ① 監督・主将はタイムを要求しないまま、みだりにベンチを出てはならない。
 - ② タイムを制限する。
 - ア 試合中スパイクの紐を意図的に結び直すためのタイムは認めない。
 - イ タイムは1分間を限度とする。ただし、審判員が認めた場合はこの限りではない。
 - ウ タイムは、プレイヤーの要求したときでなく、審判員が認めたときである。打者がタイムを要求するときは、投手が投球の構えに入る前でなければならない。また、打者は、投手が投球動作に入ったら打者席を出てはならない。
 - (7) 本塁打の走者を迎える場合は、ベンチから出てはならない。
16. 監督またはコーチが、同一イニングに同一投手のところに行く回数を1回に制限する。
17. 交代して一度退いた選手は、ウォーミングアップの相手、ベースコーチも許される。
18. 次の試合の先発バッテリーは開始10分前にブルペン使用を認める。ただし、試合中の選手の妨げになってはいけない。

◎特別規約

①学生チーム

専修学校生、各種学校生および大学生、高校生は同一学校または個人で一般チームに登録することができる。但し、学校単位で編成する場合は、学校名は使用せずクラブ名とする。

②控え選手の打順表への記入について

打順表提出時に、球場にいない者は記入できない。ただし、到着次第、監督は球審にその旨を申し出て、本部の確認を得た後、追加記入を要請することができる。追加が認められた選手は、それ以後、試合に出場できる。

◎草加市体育施設 運営管理基準

◎感染症予防対策ガイドライン

1. 【はじめに】

草加市野球連盟主催事業である大会開催において、草加市体育施設の利用再開に伴う「運営管理基準」及び全日本軟式野球連盟「JSBB 感染予防対策ガイドライン」に従いながら、当連盟の大会を開催していきます。

二つの条件を遵守していくためには、草加市野球連盟所属チームの皆様のご理解・ご協力が必要です。感染予防対策に配慮しながら大会に出場することは勿論のこと、無症状であっても他人に感染させうる可能性があることを、大会に関わる全ての人が認識してください。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見集積及び各地域の感染状況を踏まえて、見直すことがあります。

2. 【大会参加人数について】

密集・密接を避けるために、試合会場に来院する人数を制限し、登録メンバー以外の来院は控えてください。(原則、無観客試合)

3. 【感染予防対策①】 <大会参加チームの遵守事項>

- ①チーム内および大会関係者において、感染者が発生した場合は、チームの活動停止ならびに大会を即中止とします。なお、その場合には、利用者名簿を関係機関に公表することがあります。
- ②発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めません。(14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も含む)
- ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めません。
- ④選手、チーム関係者、役員、審判員は球場に入る際、必ずマスクを着用してください。試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各々マスクを着用してください。(競技中のマスクは⑬を参照)
- ⑤手洗い・うがい・マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ⑥大会当日、選手及び関係者は検温を実施してから試合会場にお越しください。なお、チーム代表者は選手及び関係者の健康状態を把握し、『利用者名簿』『施設利用チェックリスト』に必要事項を記入し、大会関係者に提出してください。
※『利用者名簿』及び『施設利用チェックリスト』は来場ごとの提出です
- ⑦野球場内における唾、痰を吐く行為を厳禁とします。
- ⑧飲み物は各々で準備し、チームで共有するジャグ・コップ等の使用はしないでください。また、タオル・おしぼり等の共有もしないでください。
- ⑨選手・チーム関係者による野球場での食事は密集に気をつけ感染防止に努めてください。
- ⑩人との距離を2メートル確保することを心掛け、ベンチ内では一定間隔を保つようにしてください。なお、大声での応援なども控えてください。
- ⑪準備体操・整理体操は広がって、密集・密接にならないようにしてください。
- ⑫試合開始時・終了時の選手による整列挨拶は、両ベンチ前で間隔をあけて行います。
※ホームベース周辺に集合・整列はしません
試合終了後の円陣・声出しは、選手が密集・密接になるため行わないでください。
- ⑬競技中のマスク着用については、選手・審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨します。ただし、熱中症予防に十分配慮してください。
※当連盟では、軟式野球の競技環境および競技の特性を考慮し、選手ならびに球審のマスク着用の義務付けはしません。
- ⑭肌が触れ合うハイタッチなどは行わないでください。
- ⑮ゴミは各自持ち帰ってください。(感染防止のためマスクやティッシュは捨てない)
- ⑯応援者の来院は控えていただき、各チーム選手に周知してください。

⑰大会運営スタッフや審判員も健康状態をチェックし、利用者名簿を提出してください。

※選手・チーム関係者・大会運営スタッフから提出された名簿を施設管理者に提出します。

⑱チームでハンドソープやアルコール消毒液などを常備し、感染防止に努めてください。また、試合後はベンチの共用設備の消毒作業にご協力ください。

⑲他チームとの密集・密接を防ぐために、試合が終わったら帰りの準備を始め、速やかに帰路についてください。また、次の試合のチームは、早すぎる来場はしないでください。

※案内済みの『試合開始予定時間 30 分』以上前に集合しないこと

4. 【感染予防対策②】 <草加市野球連盟の取り組み>

①監督またはキャプテンによる試合前のメンバー交換時に握手をしないようにしてください。また、試合前後の整列・挨拶はベンチ前で行い、選手を密集することがないように配慮します。

②試合開始時間を変更し、試合間のインターバルを通常より長い時間を設け、入れ替え時の密集・密接防止に努めます。

	通常時	対策時
集合	8:00(30 分前)	8:00(30 分前)
第1 試合	8:30-10:00	8:30-10:00
第2 試合	10:00-11:30	入替時間(30 分)
		10:30-12:00
第3 試合	11:30-13:00	入替時間(30 分)
		12:30-14:00

※原則として、試合開始時間を早めることはありません。

ただし、審判・両チームの三者の合意があった場合は
試合開始時間を早めることもあります。

③試合後に各チームに共用設備（ベンチ、ドアノブなど）の消毒作業の協力をお願いし、感染防止に努めます。

④万が一、感染者が発生した場合には、埼玉県野球連盟に速やかに報告します。